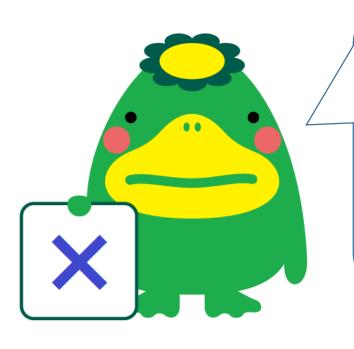
ざんねん・・・



みんなの暮らしを支えている 「生物多様性」を守るためには、 有害鳥獣への対応も大事っぱ!

捕獲して駆除するだけでなく、 食用に加工したりして 「ジビエ」として利用することが ここ最近注目を浴びているんばい!

第2の危機(ピンチ)

人間が、手を加えなくなった里地里 山は荒れてしまい、イノシシやシカなど が増えすぎて、そこにいる生きものの すみかをうばっています。





出典:久留米市「くるめ生きものプラン」

なぜ今、ジビエ振興なのか

○ 被害防止のために捕獲を進めるだけでなく、捕獲鳥獣を地域資源(ジビエ等)として利用し、農山村の所得に変えるような、有害鳥獣を「マイナス」の存在から「プラス」の存在に変える取組を全国に広げていくことが重要。

マイナス面

- ◆ 野生鳥獣による農作 物被害の増大
- ◆ 営農意欲の減退
- ◆ 耕作放棄地の拡大
- ◆ 農山村地域の衰退
- ◆ 有害鳥獣の捕獲
- 捕獲鳥獣の埋却・ 焼却処理が負担

ジビエ振興

これまで廃棄して いた捕獲鳥獣の ジビエ利用拡大 を推進

プラス面

- ◆ 積極的な捕獲の推進
- ◆ 農作物被害の低減が 期待
- ◆ 様々な分野でジビエ利用
 - □ 農泊·観光
 - 外食・小売
 - □ 学校給食
 - □ ペットフード など
- 農山村地域の所得向 上が期待

3